

令和2年度 学校評価報告書（最終報告）

【国上市立国立第一小学校】

学校教育目標	自分で考え すすんで行動する子 力を合わせて 高め合う子 思いきり体を動かし 元気な子	重点目標 自分で考え すすんで行動する子
---------------	---	-----------------------------

学校教育目標	中期的目標	短期的目標	具体的な方策	評価指標 (打ち消し線の指標は、 年度当初に今年度は困難と判断したもの)	達成状況		分析	改善策	学校関係者評価
					中間評価	最終評価			
自分で考えすすんで行動する子	基礎・基本となる内容の確実な定着と、思考力・判断力・表現力等を育てる。	教師の学習指導力を高めることを通して児童の学びへの意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力等の伸張と基礎・基本の定着を図る。(研推)	校内研究を中心に、全ての教科で伝え合いの授業を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートにおける年度途中(4月)と年度末(12月)の肯定的評価上昇 保護者アンケートにおける「分かる授業」「個に応じた授業」の肯定的評価80%以上 教員アンケートにおける「伝え合いの授業の充実」についての肯定的評価80%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 「先生は勉強を楽しく教えてくれる」が95.2%「先生は勉強を楽しく教えてくれる」が97.0%とさらに上昇した。しかし「授業ではたくさん考えたり、発言したりしている」は70.8%で下がった。 保護者アンケートからは「一人一人の子供がわかる授業」(個に応じた授業の充実)98.5%と高評価であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業ではたくさん考えたり、発言したりしている」のポイントダウンは、コロナの関係で自由に表現できる場が少なくなったことも原因と考えられる。来年度は、発表や表現方法を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数少人数のとき、配布されたプリントに興味をもって取り組んでいる姿が嬉しい。 放課後に補習をしてきていてありがたい。 放課後、校庭で児童と遊んでいる先生がいる。それが信頼関係を結ぶことになると思う。 ヒマラヤ杉のキャラクター「ヒマラヤン」は使われているのか。→研究では使用している。→もっと浸透させてもいいのではないかな。
		学ぶ意欲を引き出すための教材の工夫、発問の精度の向上、伝え合いの場面設定、指導計画の作成などを日々改善していく。	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートにおける「めあてをもって勉強ができる」「たくさん考え発言した」の肯定的評価80%以上 保護者アンケートにおける「楽しい授業」の肯定的評価80%以上 教員アンケートにおける「授業改善」の肯定的評価80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 「めあてをもって勉強ができる」は84.3%から86.7%に上がった。 保護者アンケートからは「楽しい授業」99.5%で、保護者からの肯定的評価が得られている。 教員アンケートからは、授業改善については引き続き100%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> より一層授業改善ができるように、教員同士の学び合いの時間を確保する。 		
		開かれた学校を目指し、地域の教育力を生かす教育活動を展開する。(教務)	学校公開での内容を充実させ、保護者・地域の学校理解を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開参加率の上昇(前年度比) アンケートの回収率参加者の80%以上 保護者アンケートにおける4項目での肯定的評価85→80%以上維持 教員アンケートにおける「積極的に公開し、理解と協力を得ている」の肯定的評価80%以上の維持 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回収率49.2%→54.8% 学校公開が実施できなかったため、保護者会の場で可能な限りでの回答を依頼した。後期は回収率が上がったが、指標と比べると低い。 全11項目で肯定的評価80%以上を維持 指標を大きく上回る高い評価となった。公開の機会は減ったものの、ホームページやメール等の情報発信が評価されたと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 密を避けて公開が可能なものをさらに検討し、教育活動の様子を発信した上で、地域や保護者の意見を集約する機会を増やす。また、回収率を上げるために保護者会やクラスでの呼びかけを強化する。 引き続き、地域や保護者の求める情報を、学校学年通信やGoogle Classroomなど様々な手段を活用して伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページで一小ブチニュースがたくさん更新されていて、学校の様子がよく分かった。 必要性がないので、ホームページを開くことはない。→アナウンスすると関心が高まる。 Google Classroomはどのように活用しているか。→今、全員がログインできるようになった状態。 Google Classroomが活用されれば、児童の様子がさらに分かってありがたい。
		地域の教育力を活用した授業を行い地域と連携を積極的に図る。	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で年間1回以上の地域の題材や外部人材を活用した授業の実施 保護者アンケートにおける「学校はPTA行事、地域の活動に協力的である」の肯定的評価80%以上 教員アンケートにおける「児童が地域のよさを実感」の肯定的評価80%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート「学校はPTA行事、地域の活動に協力的である」の肯定的評価97.9%→98.4% 限られた中ではあるが、地域と連携して谷保の自然・文化にふれる学習活動が行われていることが評価されたと考えられる。 教員アンケート「児童が地域のよさを実感」の肯定的評価75%→82% 上の項目と同様、地域を活用した活動が前期よりもできるようになったためと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での活動に地域人材を活用するだけでなく、児童が地域の活動にも意欲的に参加できるような取組も模索する。 各学年で行われた教育活動において、児童が地域のよさを実感できたのはどの場面だったのかふりかえり、次年度の計画に生かす。 		

学校教育目標	中期的目標	短期的目標	具体的な方策	評価指標 (打ち消し線の指標は、 年度当初に今年度は困難と判断したもの)	中間評価	最終評価	分析	改善策	学校関係者評価
力を合わせて高め合う子	自己肯定感をもち、友達と互いに磨き合い高め合う心を育てる。	人との関わりを大切にされた教育活動を展開する。(特活)	異学年交流の時間 ・にこにこ活動 ・クラブ活動 ・委員会活動等の充実を図る。	・児童アンケートにおける「学校は楽しいか」の肯定的評価90%以上 ・教員アンケートにおける『にこにこ活動の充実』の肯定的評価85→80%以上	A	A	・児童アンケート「毎日楽しく安心して登校している」肯定的評価91.3%→93.3% クラブ、委員会活動などにおいて、人との関わりを大切にされた取組が行われている。今後も内容を工夫し、教育効果を高めたい。 ・教員アンケートにおける『にこにこ活動の充実』→実施せず	・クラブ活動や委員会活動は、今後もコロナ対策など学校の状況をみながら、できる範囲で楽しく充実した活動ができるように対応していく。 ・にこにこ活動は新しい方法で交流できないか検討していく。	・コロナ禍でコミュニケーション能力は下がってしまうのではないかと思う。 →マスクをすることで、班活動ができるようになってきている。 ・教職員の努力によって、工夫された活動が行われている。
		特別支援学級との交流を、年間を通して継続的に実施する。	・日常及び学校行事における学年交流を充実させる。1学期1年生との「なかよくなるう集会」、2学期2年生との「もとなかよくなるう集会」を教育計画に位置付け。 ・教員アンケートにおける「特別支援学級との交流等」の肯定的評価が85→90%以上。	A	A	・教員アンケート「特別支援学級との交流等」肯定的評価 100%→94% 1・2年生を中心に、計画的に交流活動を行っている。ネットワークを利用するなど、新しい試みにも挑戦した。	・コロナ対策をしながらネットワークで交流するなど、今後も活動の方法や内容を工夫して、特別支援教育の充実に取り組んでいく。		
		互いの生命、人格を尊重した人権教育を推進し、豊かな人間性を育む。(生活)	道徳授業での計画的な指導と日々の指導において、児童の人権感覚を高めさせるための指導を実施する。	・学校公開での保護者アンケートにおける「道徳教育について」並びに「本校の道徳教育について」の肯定的評価90%以上 ・教員アンケートにおける「道徳授業の充実」の肯定的評価90%以上 ・いじめへの学校の対応についての肯定的評価が85%以上	A	A	・学校公開は今年度実施せず ・教員アンケート「道徳授業の充実」の肯定的評価 94%→93% ・保護者アンケート「学校側の事故とトラブルへの対応」肯定的評価96.4%→95.6% 肯定的評価が高く、それぞれが道徳授業の充実に向けていると言える。 肯定的評価が 90%以上とかなり良い評価を得られている。教員それぞれがコロナ禍の不安等にも丁寧に対応できていると考える。	・互いに授業を見合うなどして引き続き道徳授業の充実に取り組んでいく。 ・引き続き、児童や保護者の声に素早く丁寧に対応し、安心して登校できる学校づくりを心掛ける。	・校内や犬の散歩で会ったときに児童があいさつをしてくれる。 ・下校時に2列で歩いていると、車が通れない。危ない。どちらかに寄ってくれればよいが、両端に分かれてしまう。→学校で指導してほしい。 →社会全体が統一されていないから難しい。→止まって待っているのが一番よい。
		規範意識の定着を図る。	・児童、保護者アンケートにおける「あいさつ」、「きまりを守る」、「言葉遣い」ともに肯定的評価80%以上	A	A	・児童、保護者アンケート肯定的評価「あいさつ」94.2%→96.7%「きまりを守る」95.7%→95.2%「言葉遣い」87.5%→87.6% いずれも肯定的評価が80%以上と、良い評価を得られている。	・教員が範を示すとともに、高学年が下学年の手本となれるよう指導の充実を図る。		
	思い切り体を動かし元気な子を味わう体を育てる。	健康でたくましい児童の育成を図る。(体行)	食育の推進を図る	・教員アンケートにおける「児童に食に対する正しい知識と食習慣を身に付けさせる」の肯定的評価90%以上	B	A	・教員アンケート「児童に食に対する正しい知識と食習慣を身に付けさせる」の肯定的評価 88%→94% もぐもぐタイムや食材の紹介が児童にとって食に対する正しい知識と食習慣を身に付けさせることにつながったと考えられる。	・次年度も効果的だったもぐもぐタイムや食育メモなどの取組を継続することで、児童が食について自分の健康を支える大切なこととして捉えられるように働きかけていく。	・ミニスポーツ大会だけでは、体力が上がったかどうかは分からない。 ・体力は下がっているのではないか。 →外で鬼ごっこをしたり、日々簡単なトレーニングをしたりするのが効果的ではないか。
		児童の基礎体力の向上を図る。	・都の体力テストの結果の前年度比、全学年2項目以上の向上 ・運動に対する意識調査の結果で否定的意見の児童数を学級の1割未満にする。	B	B	・体力テストおよび意識調査は今年度実施せず	・次年度に体力テストが実施できない場合でも、可能な種目についての指導と計測を行い、児童が成長を確かめられるようにする。また、体力向上週間などの取組や体育支援員、地域人材の活用により、児童の体力向上を図っていく。		

Aよくあてはまる・達成率80パーセント以上である。

Bややあてはまる・達成率60パーセント以上である。

Cあまりあてはまらない・達成率は約60パーセント未満である。

評価指標・・・各アンケート項目(詳細)

具体的な方策	児童アンケート	保護者アンケート	教員アンケート
校内研究の充実	①めあてをもって学習している。 ②自分の考えをノートにかいている。 ③自分の考えを友達に伝えている。 ④自分の考えと友達の考えを比べながら発表を聞いている。 ⑤その日にわかったことをノートにまとめている。	①一人一人の子供が「分かる」授業が行われている。 ② <u>子供たちが意欲的に取り組める授業が行われている。</u>	①校内研究(伝え合う力を高める指導の工夫)で、 <u>話すこと・聞くことの授業の充実が図られている。</u> ②授業では、問題解決的な授業を展開し、児童が見通しと達成感をもって学習を進めている。 ③「分かる授業」「楽しい授業」をめざし、常に授業改善を図っている。
学ぶ意欲を引き出す授業の工夫	①先生は楽しく教えてくれる。 ②授業ではたくさん考えたり、発言したりすることができた。	①子供にとって楽しい授業が行われている。	○「わかる授業」「楽しい授業」をめざし、常に授業改善を図っている。
学校公開を充実し、保護者・地域の学校理解を高める		① 教室の掲示物や作品に描かれた教師のコメントなど、環境づくりに配慮が見られる。 ② 教室以外の掲示物及び環境づくりに配慮が見られる。 ③ 保護者会や学校通信等により、学校の経営方針や取組などを理解することができる。 ④ 学校はPTA 行事、地域の活動に協力的である。 ⑤ 学校は事故やトラブル等に対して誠意とスピード感をもって対応している。	○学校行事や保護者会、学校公開、学年通信や学級通信、ホームページ等で教育の成果を積極的に公開し、教育活動に対する理解と協力を得ている。
地域の教育力を活用した授業を行い、連携を図る		○ <u>教職員は子供たちの学力・体力の向上・心の育成のために努力している。</u>	○地域の自然、文化・伝統や技術等を教育活動に積極的に取り入れ、児童が地域の「よさ」を実感している。
にこにこ活動の充実	○毎日楽しく安心して登校できる。		○にこにこ活動の充実を図り、児童が良好かつ多様な人間関係を構築している。
特別支援学級との交流を推進する			○特別支援学級と通常学級との交流を進めるとともに、特別支援教育が必要な児童に対しての支援を積極的に行い、効果を上げている。
道徳教育の充実を図る		①子供たちは授業の内容について深く考えていた。教師は児童に内容について深く考えさせる工夫をしていた。 ②本校の道徳教育に対する理解が深まった。	○道徳の指導においては、資料の提示方法や多様な学習活動、発問を工夫し、児童にねらいとする価値を気付かせている。
規範意識の定着を図る	①元気にあいさつができる。 ②言葉遣いに気をつけて生活ができる。 ③きまりや約束を守って生活ができる。	①子供は元気よく挨拶ができる。 ②子供は決まりや約束を守って生活している。 ③子供は言葉遣いに気を付けて生活している。	①規範意識の定着を図るために、児童に「明るいあいさつ」と「適切な言葉遣い」の指導を徹底し、身に付けさせている。 ②学習習慣の確立、学習態度の育成のために、「学校のきまり」を児童に守らせて学習や生活をさせている。 ③ <u>教師自らが「明るいあいさつ」と「適切な言葉遣い」など模範なって日々の生活で実践している。</u>
食育の推進を図る			○食育の推進に努め、児童に食に対する正しい知識と食習慣を身に付けさせる。
児童の基礎体力の向上を図る			○体育授業や体育的活動を通して、児童の体力が向上している。

Aよくあてはまる・達成率80パーセント以上である。

Bややあてはまる・達成率60パーセント以上である。

Cあまりあてはまらない・達成率は約60パーセント未満である。

令和2年度 学校評価作成日程

4月	4月15日(水) 学校評価の内容項目の検討・決定 児童アンケート①
5月	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 5月23日(土) 第1回 学校評議員会 </div> 保護者アンケート① 運営委員会報告
6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 今年度の具体的な方策の 実施期間 </div>
7月	
8月	8月27日(木) <u>中間評価(分析、改善策、評価)の完成</u> ※これまでの各行事における保護者アンケートも考慮して 運営委員会報告
9月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 中間評価の 改善策実施期間 </div>
10月	
11月	ひまらや学芸会 11月14日(土) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 第2回 学校評議員会(中間評価の報告) </div> 保護者アンケート②
12月	12月初旬:教職員アンケート② 児童アンケート②
1月	<u>最終評価(分析、改善策、評価)の完成</u> ※これまでの各行事における保護者アンケートも考慮して <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 1月30日(土) 第3回 学校評議員会(最終評価の報告) 終了後:学校保健委員会 </div>
2月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 最終評価の 改善策実施期間 </div>
3月	